

令和7年度

第1回 学校評価アンケート 集計結果



長門市立神田小学校

令和7年度 第1回学校評価【全体比較による分析】

	項 目	児童	保護者	地域	教職員	平均
チャレンジ目標	「気持ちのよいあいさつ！めざせレベル5！」	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	「時間を守ろう！開始や集合！」	100.0	50.0	91.7	100.0	85.4
	「やさしくかわろう！言葉や行動！」	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
学校生活	めざす学校像について	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	学習内容の理解	100.0	83.3	66.7	100.0	87.5
	主体的な学び	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	自分の考えをもち、伝えている	83.3	100.0	100.0	100.0	95.8
	先生や友だちの話をよく聞いている	100.0	100.0	91.7	75.0	91.7
	友だちと仲良くしている	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	いじめやトラブルの未然防止、早期対応	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	授業や学校行事等に地域の力を生かしながら教育活動を進めている	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
家庭生活	家庭学習への取組	83.3	100.0	—	100.0	94.4
	自主学習への取組	100.0	83.3	—	100.0	94.4
	体力づくりへの取組	83.3	83.3	—	100.0	88.9
	交通安全（道路歩行、自転車の乗り方）	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	家庭での挨拶	100.0	100.0	—	—	100.0
	地域行事への参加	100.0	100.0	83.4	—	94.5
	メディアに関わる約束	100.0	66.7	—	—	83.4

※肯定的評価の割合（「わからない」も割合に含めて算出しています）

全体分析と今後の取組について

【チャレンジ目標について】

① 気持ちのよいあいさつ（※日置みずぐ学園重点取組事項）

・肯定的評価は100%であり、「よくあてはまる」の割合は昨年度よりも20%近くアップしている。朝の登校時のあいさつでは、これまでの神田小学校のよい伝統を受け継ぎ、一人ひとりが元気のよいあいさつをしようと心がけている。あいさつは、日置みずぐ学園の重点取組事項でもあるので、今後も日置小学校や日置中学校と連携した取組を行うと共に、家庭や地域にも働きかけて気持ちのよいあいさつが交わされるようにしていく。

② 「時間を守ろう!開始や集合!」

・昨年度に比べ肯定率がやや下がっている。児童の肯定率は上がっているが、保護者の肯定率が下がっていることから、家庭生活で時間に対する意識が低くなっていることが伺える。学校でできることが学校外でもできるように初めてその習慣は定着したと言える。時間を守ることは判断力や見通す力、責任感にもつながってくる。自分の行動を振りかえさせながら、学校生活、家庭生活で時間を守るべき時にはしっかり守る意識を育てていく。

③ 「やさしくかかわろう!言葉や行動!」

・行きたい学校であるためには、学校が安心して過ごせる場であることが必要となる。今回のアンケートにおいて、この項目の肯定率は100%であった。児童が優しい言動を心がけていることが家庭や地域にも伝わっている。一人ひとりがしっかりとかわり、相手のことを思いやる気持ちを今後も大切にしていけるようにする。

【学校生活について】

① めざす学校像について

・めざす学校像については、肯定的評価が100%でそのうち「よくあてはまる」の回答が83%と高い数値であった。評価者全員にとって、学校の現状が目指す学校像になっていることを表す結果となっている。閉校を迎えた今年度、学校に対する想いがこれまで以上に感じられる。神田小学校に関わる皆さんにより学校であると思っていただけるように、総合的な学習の時間や行事、児童会活動など今後も教育活動を充実させていく。

② 学習内容の理解

・学習内容の理解については、昨年度の後期に続き児童と教職員の肯定

的評価が100%であった。4月に行った全国学力学習状況調査の結果からも、概ね学習内容については理解していると言える。朝学習の神田タイムで「やまぐちっ子学習プリント」などを活用しながら、学習内容の定着を図り、さらには応用する力をつけていくようにする。

③ 主体的な学習

・今年も、二つの学年が一人学級のため、自分で見通しをもちながら学習を進めているかという「主体的な学習」についてのアンケートを行った。今年度は「けてぶれ学習」を進めながら、児童が自分自身で学習を進めることができる力を育成している。「けてぶれ学習」とは、学習の計画をし、テストをしてその結果から分析を行い、さらに必要な練習をしていくというものである。やらされる学びではなく、学びに積極的ににかかわることで見通しをもち、意欲的に学習に取り組めるようにしていく。

④ 自分の考えを表現している

・この項目については、昨年度から「話し合いのときに意見を言っているか」で児童には質問している。昨年度の後期に比べると肯定的評価の割合が増え、さらに「よくあてはまる」を選んだ児童の割合も増えており、自分の思いや考えを人前でも表現できるようになってきたと感じていることが分かる。児童以外の評価者は肯定的評価が100%で、児童はしっかりと発言していると捉えている。ただ、肯定的評価が高いながらも表現することを少し苦手と思っている児童もいるようなので、一人ひとりに目を向け頑張りやよさを価値づけるようにする。

⑤ 先生や友だちの話をよく聞いている

・肯定的評価は高いものの、「よくあてはまる」の割合は半分程度と他の項目に比べると高くはない。「聞く」ということは意外と難しいことを表しているとも言える。聞きながら、伝えたいことは何かやどんな指示なのかなど大切なことを考え、理解していくことが必要となる。本校では、「聞き方あいえお」を設け、よりよい聞き方ができるように日ごろから取り組んでいる。よい聞き手、よい話し手を授業や日常生活で育てていくことで相乗効果を図る。

⑥ 友だちと仲良くしている

・全評価者の肯定的評価が100%であった。6人の児童が仲よく学校生活を送っていることがうかがえる。休み時間をはじめ委員会や行事など多くの場面でお互いがよくかかわっている。チャレンジ目標にもあるように相手のことを考えた言動をしながらよい関係を築いている。トラブルがあった時には成長の機会と捉え、それぞれの立場からどうしていくことがよいかを振り返るようにしている。

⑦ いじめやトラブルの未然防止、早期対応

・この項目は、昨年度から追加したものである。いじめについては、どの子にもどの学校にも起こり得るものという認識をもち、未然防止、早期対応に努めなければならない。児童全員がいじめはどんな理由があってもいけないことだと理解している。何か困ったことが起こったときの対応の仕方や友達への接し方、SOS の出し方をスクールカウンセラーとも連携しながら指導している。引き続き、だれもが安心して学ぶことができる明るく楽しい神田小学校であるために、いじめにかかわる問題を自分事として捉え、自ら行動できる集団づくりに努める。

⑧ 授業や学校行事等に地域の力を生かしながら教育活動を進めている (※日置みずゞ学園重点取組事項)

・今年度は閉校ということもあり、閉校事業実行委員会をはじめ地域とのつながりをこれまで以上に感じている。学校評価アンケートではどの評価者の肯定的評価も100%であった。運動会や遠泳大会など保護者や地域の方と連携し、充実した思い出に残る行事を行うことができた。「つながろう!神田小への想い」を合言葉に、神田小に関わる皆さんとのつながりを大切にしたい取組を2学期以降も推進していく。

【家庭生活について】

① 家庭学習への取組

・教職員の肯定率は100%であることから、宿題の提出は忘れずにできていることが分かる。保護者の肯定率も100%であり、家庭で児童が学習に取り組んでいることもうかがえる。ただし、「よくあてはまる」の割合は高くないことから、学習している内容や量、ていねいさには課題がみられるようである。家庭での学習を何のためにするのかその意味を繰り返し伝えながら、達成感や成長が感じられるような取組を目指す。

② 自主学習への取組

・自主学習への取組については、昨年度の前期に比べ肯定的評価が20%近く上がっており、自主学習の仕方がよくなっていると言える。「けてぶれ学習」の分析と練習がこの自主学習とも結びついていて、自分の学びのために何をすればよいかを考えながら取り組む児童が多くなっている。ノート展を行い、他の児童の学習の仕方を共有しながら、自主学習の仕方や内容の充実を図っていく。

③ 体力づくりへの取組

・本校では今年度、体力向上に向けた重点的な取組として、持久力と走力の向上を目指している。体育の授業では、準備運動にリズムジャンプを取り入れ、楽しみながら運動の基本となる動きを身につけるようにしている。体力テストでは、50m 走や握力で特に伸びが見られた。体力づくりは日々の積み重ねが重要となる。今回の調査では、家庭での運動の取組がやや減少傾向にあることが分かった。家庭でもできる簡単な運動を改めて紹介し、学校だけでなく家庭でも継続して体力づくりができるよう働きかけていく。

④ 交通安全(道路歩行、自転車の乗り方)

・交通安全については児童だけでなく、保護者や地域の方の評価も高いことから、日ごろから気を付けていることが分かる。1学期には自転車教室を行い、自転車の乗り方を中心に交通安全について注意すべき点について学んだ。知っている知識をきちんと実践することが安全につながっていく。KYT(危険予測学習)を取り入れながら、児童自身が判断し、日ごろから安全な行動がとれるように引き続き指導していく。

⑤ 家庭でのあいさつ

・家庭でのあいさつについては昨年度に引き続き肯定的評価が100%となっている。学校でもチャレンジ目標の一つとしてあいさつに取り組んでいるため児童の意識は高く、学校・家庭・地域のどこででもしっかりとあいさつができていくことが分かる。元気なあいさつを交わすことで、お互いの気持ちが明るくなり、前向きな関係が築かれる。つながりを深める第一歩は、気持ちのよいあいさつから始まるという思いを学校、家庭、地域で育てていくようにする。

⑥ 地域行事への参加

・日置地域はもちろん、長門市全域の行事に積極的に参加をしてほしいという思いから、昨年度より「長門市や地域の行事、催し事」への参加について尋ねている。夏休みには、仙崎海上保安部主催の体験航海や長門市スポーツ文化交流課が行う海洋スポーツ教室への積極的な参加が見られた。興味関心を広げたり、新たな人との交流ができたりもするので、今後も参加を前向きに検討してほしい。

⑦ メディアにかかわる約束

・昨年度に比べると肯定的評価が上がっている。日置みずゞ学園では重点取組事項の一つとして、各校で「メディアコントロールウィーク」を実施し、メディアにかかわる時間を意識して生活できるようにしている。日本小児科医会によると、すべてのメディアに触れる時間は「全部で1日2時間まで」を目安とするとよいと提言されている。メディアにかかわる時間は、心身の健康面や発達、学力などとの関連があると考えられている。メディアのメリットやデメリットを知り、よりよいかわりをしていこうとする力を学校と家庭で協力して育てる。

自由記述より

【保護者・学校運営協議会委員】

- ・いつも気遣いをしていただきありがたい。
- ・担任の先生には子どもの学習の進め方など具体的に分かりやすく伝えて頂き参考になる。また生活態度についても理解頂いていると感じた。その他の先生方も見守って頂いている事を感じることが出来る。保護者としても安心感が得られ、大変ありがたい。
- ・職員は少人数ながらもよくされていると感じる。児童にとって神田小学校最後の学校生活となるので、最後に沢山の良き思い出を作って行って欲しいと思う。